今明かされる、広島の偉大なる天命！

河内正臣 特別講演会

平成２１年１２月２３日（祝）
於：広島国際会議場

ただいまご紹介いただきました河内正臣でございます。
田端さん、本当にありがとうございます。
そして舞姫様、本当にありがとうございます。
今日は本当の天の岩戸が開く時でございます。

今日はですね、１２月の２３日、天皇様のお誕生日ですね。
実はこのお誕生日にはですね、天の深い深い諭しがあるんです。
これはどういうことかと言いますと、今の天皇様が誕生される前に四人のお姉様がおられたんですね。
昭和８年１２月２３日、この頃は天皇様中心の日本ですから、また天皇様は男しかなれませんからね、最初から全国民は男が生まれることを望んだんですね。
最初は女性の方でした、内親王とおっしゃられます。
二人目も女性の方でした。
三人目は、今度こそ男の子と全国民は必死で祈りました。
しかし女性だったんですね。
四度目、今度こそは、・・・しかしまた女性だったんです。
さすがに国民はがっかりしましてね、皇后様は女腹だと、男は産めないと言い出したんですね。
そしてそういう時に第五番目のご懐妊だったんです。
もう日本国民は必死で祈りました。
神社関係の人はね、水をかぶって祈ったそうです。
そういった全国民の祈りに応えて生まれられた方が今の天皇様なんです。
しかも一日前、昨日は冬至でしたね。一年で一番夜が長い日です。
それが極まって陽に転じる、誕生なさって８分後に太陽が昇りました。
明仁様、明るいという字は日と月、陰と陽ですね、この世の中はすべて陰と陽の現れです。
男と女、精神と物質、西洋と東洋、これが和合したら明るい世界になるということなんですね。
明仁天皇様は明るいという字が示します通り、まさに太陽が顔を出した、岩戸が開いたということなんです。
では岩戸開きとはどういうことなのか、太陽様ですね、天照大神が岩戸に入って真っ暗になったと古事記で言われています。
これはどういうことかと申しますと、夜の時代ということなんですね。
アメリカ、ソ連(ロシア)、中国、世界を動かしていると言われるユダヤ、みな国旗は星で

ございます。
その人たちが世界を動かしてきたんですね。
アメリカ、ロシア、中国の真ん中にあり、太陽の国旗に象徴される日本はまだ出ていなかった。
要するに夜の時代だったということなんです。
暗い時代、いろんな悪がはびこります。
特にその中でも一番の大問題が、夜の時代に価値があるとされた軍隊ですね。
やっぱり疑心暗鬼がひどいですから、自分の国を守ることが一番の正義とされたんですね。
だからどこの国も必死になって軍備を強化し、それに伴って相手国もまた軍備を強化し、悪循環ですね。
もう人間の意識の中からは平和がすっ飛んで、軍備で守ることばかりに集中するんですね。
それの行き着く先が戦争、それが二十世紀は戦争の世紀と言われた原因だったということですね。
そのような夜の時代が、今明けるんです。それが天の岩戸開き。
明仁天皇様は、その大変な天命を持ってお生まれになったということですね。

今日ですね、皆さんの前できれいな舞姫様が踊ってくださいました。
あの踊りは本当に素晴らしい踊りなんです。
霊的なことが感じられる人には分かるんですが、本当に神様が一体となって踊っておられるんですね。
本当に、霊が浮かばれるんです。
広島で原爆で亡くなった、恨み苦しんでいた霊、戦争で亡くなった人、浮かばれないかわいそうな霊がいっぱいおられますよね。
あの踊りによって本当に癒され、霊が浮かばれて、そうすることによって半分岩戸が開かれたんですね、このことは古事記に載っています。

後の半分は、手(田)力男命(タヂカラヲノミコト)が開くんです。
田に力、男ですね、この男性の力によって完璧に開くわけです。
これはどういうことなのか、これはあの大東亜戦争の価値が明らかになるということなんです。
今日それを明らかにいたします。

お忙しい中をたくさんの方々にお越しいただき、本当にありがとうございます。
皆さん方に私が一番訴えたいこと、それは世界の平和、これは実は誠に簡単、容易に実現できるということなんです。
これだけメディアが発達しているんですから、日本には世界の世論を味方にできる資格と条件があるんです。
これが原爆体験と憲法九条です。
最高の防衛とは何か、世論を味方にすることなんです。
今鳩山総理は普天間問題で苦しんでいますね。
これは明らかに天の諭しがあるんです。
もう日本は武器を持って基地を強化するといった、そんな低次元な幼いことは止めなさいということなんです。
日本は太陽なんです。太陽が出れば星は消えます。
本当の明るい世界、世界の軍事費用を福祉に回せる世界、こんな素晴らしい世界が来るんだ、明るい夢と希望を与える運動。
またもうひとつは、原爆を持って武器をたくさん持って威張っていることが恥ずかしいような、そういったところまで人間性を高めなければいけませんね。
これが本当の平和運動なんです。

ただ今までは、広島の原爆の平和運動は、怒りと憎しみと悲しみと恐怖を訴えてきましたね。
恐怖を訴えたならば、
「わ〜怖い、あんなものを落とされては大変だ」
と、落とさせないためにはより強力な武器を持って守らなければならない・・・とこうなりますよね。
だから広島が原爆のことを訴えれば訴えるほど、核を持つ国は増えていったでしょ。
これは矛盾ですね。
そしてもうひとつは怒りですね。
「アメリカはひどいことをしやがった、とっとと帰れ」
そしたらアメリカの立場はどうなりますか。
「何を言いやがるか、先にやったのは日本じゃないか、リメンバー・パールハーバーだ」
と反発してケンカになるんですね。
ケンカとは平和を壊すものなんです。
平和とは、平らかに和やかに和する運動ですね、逆になっていました。
もうひとつは嫌悪感ですね。

皆さんは原爆資料館をご覧になったことがありますよね。
人間誰だって一度は恐ろしいものを見てみたいんです。
怖いもの見たさですね。
けど一回見たらまた見たくなりますか。
おそらくたいていの方は二度と見たくはないでしょう。
だから平和と言ったら善男善女は逃げてしまうんです。
名前を挙げて悪いんですが、一部の原水禁、原水協、社会党系、共産党系の人たちが広島に来ては平和、平和、反核と訴えながら、怒りと恐怖と悲しみと憎しみをアピールしてきたんですね。
これでは被爆者の方たちの心は明るくなりません。
なかなか病気も治らない、そういう状況できたわけです。
けれどそれが全部いけないとは言いません、やむを得なかった。
それはしかし平和運動ではないんです。
今までの運動は核戦争防止運動だったということですね。
ひじょうに陰性の運動ですね。
平和運動とは、人間の心を高め、明るい夢と希望を与える陽性運動です。
もう武器など持っていては恥ずかしいと思えるような人間にする、そして世界の莫大な軍事費用を福祉に回すことのできる世界を創ろうではないですか。
こんな素晴らしい世界、こんな平和な世界がもうすぐ来ますよ。
「わ～素晴らしい、本当にそんな世界を創りたい」そういう気持ちにさせるのが真の平和運動ですよね。
これからそういった真実の平和運動に変るんです。

今までの広島と長崎の訴えは、たったひとつ大きな功績があったんです。
それが核戦争防止の力だったということですね。
核戦争の危機は戦後何度もありました。
昭和２５年の南北朝鮮戦争の時は、マッカーサーは原爆を使えと言ったんです。
けど使えなかった。
それは広島長崎の訴えのお陰ですよね。
それからベトナム、特にキューバは危なかったですね、寸前まで行きました。
ベルリンも危なかった、これまで何度も核を使う危機はあったんです。
それをかろうじて回避できたのは、広島長崎の訴えのお陰だったんです。
その意味に於いて、核戦争防止、全人類を生かしてきたという大きな功績が広島長崎にはあったんです。
しかしながら、今までの訴えでは絶対に平和は来ませんね。
そこで、いよいよ出てくるのが何か、それが憲法九条と原爆体験と天皇の真実なんです。
実は原爆体験にはものすごく深い天の計りがあるんです。

今から私が話すことの中には、天とか神とか神計りとかがしょっちゅう出てきます。
だからご説明しておきます。私の言う天とか神とはどういったものなのか。

たとえばこのマイクですね、これは誰かが作ろうと思ったからできたんです。
机もそうですね、誰かが作ろうと思ったからできたんですよ。
それと同じように、地球もそうでしょ、地球は元々無かったんですから。
科学者は地球４６億年の歴史と言っておりますね。
それは４６億年前にはなかったということです。けど今は球体としてある。
一日２４時間で自転していますね。
一年３６５日で太陽の周りを公転していますね。
自転と公転、そして様々な星々は互いに支え合っていますね。
見事な和です。見事な秩序、法則です。
こういったものが、何の意志も法則もなしに生まれるはずがないでしょ。
宇宙には意志があることが分かりますよね。
その宇宙の意志が地球を作ろうと思ったからできたんです。
その宇宙の意志を私は「誠の神」と言っているんです。

この神が地球を創造なさり、人間もまたすべてこの神から生まれてきましたね。
私の上に親がいる、またその上に親がいる、そしてそのまた上にも・・・、これがずっと遡りますと、宇宙の意志に入りますね。
これは対を絶する、絶対神ということです。
黒人も白人も、私たち日本人も、みんなそこから生まれてきた。
この神様に心を結んで、はじめて世界平和が来るんですよ。
今までの唯物史観と排他独善宗教では、どんなに努力しても絶対に平和は来ません。
なぜならば、唯物史観と排他独善宗教では、個人のエゴと組織のエゴを一歩も超えられないんです。
戦争とは、国家のエゴ、民族のエゴのぶつかりでしょ。
だから真の平和を実現するためには、その国家のエゴ、民族のエゴを超えなくてはなりませんね。
それが誠の神なんです。
神国と言われた日本は、この真の神、誠の神を表す天命があるんです。
この誠の神の心はどんな心なのか、これは簡単なことですね、すべての親だから、差別のない、絶対の愛なんです。
今日はハッキリそれを自覚してくださいね。
これを自覚することによって、本当の神の道を歩むことができるんですよ。

ちょっとご参考までに言っておきましょう。今までの宗教の悪口を言うのではないんですが、分かっていただくためにあえて言うのですが、どの宗教教団も信者さんは凝り固まりますね。
“ コ(狐) ” はキツネでしょ、“ リ(狸) ” はタヌキですね。
教えを受けるから小利口になり小理屈を言うけれども、裏を返してみれば利己信仰、自分のこと、自分の属する教団だけのこと、これは利己信仰で本当の神信仰ではないですね。
もうひとつ、日本の神様は「示して申す」と書きますね。

日本の神様は分かってくると本当にすごいんですよ。
神の心は示し申されております。
この原爆のことについては後で申しましょうね。
差を取れ、悟れということなんです。
神の心と人間の心には大きな差がございます。
この差を取っていくと、神の心が分かってくるんですね。
さきほど田端さんがおっしゃられてましたが、私は昭和４８年に、弊立(へいたて)神宮に初めてお参りしたんです。
数日後に禊ぎを受けました。身を削ぐ、罪削ぎということですね。
人間みな罪を持っているんですね、その罪を削がれた、それからいろんなひらめきが生まれだした。
もうその禊ぎの期間、半年間は一睡もできなかったんです。
それはもう本当に苦しかった、けどその時に何と祈ったか、私は無理矢理にでも「ありがとうございます」と祈っていたんです。
私はこの苦しみは、自分自身の業(ごう)の浄化なんだと知っていたからです。
今苦しいけど、今悪いものをどんどん浄化してもらってるんだと思ったから、また思えなくても意地でも思うようにしました。
それで「ありがとうございます」今つらいけれども悪いことをどんどん消してもらっているんだ、その消してもらった奥から本当の神性が現われるんだ、それを知っていたから「ありがとうございます」。
有り難ですね、難が有ることがありがたい、それを悟ることは、有ることが難い(がたい)ことですね。
それを言いつづけました、祈りつづけました。
そして半年後にそれが収まってきたら、私自身にいろんなひらめきが起こりだしたんです。
今日はそのことを申し上げるんです。

原爆は、上空約５７０メートルで横に爆発したと言われていますね。
これはウランの人体実験と言われています。
長崎は縦にドーンと、これはプルトニウムの人体実験と言われています。
これは十字架だったんです。
神が許されたことだったんです。
これがなかったら、絶対に日本は滅びていますよ。
もしあそこで原爆が落ちなかったら、絶対に日本は降伏していませんでした。
もうあの時点ですでに日本人は三百万人殺されていました。
もうこうなったら止められません、意地になりますね。
武士道は死ぬことと見つけたり、生きて虜囚の辱めを受けず、捕虜になることは恥ずかしいこと、私たちにはそういう意識がありましたから。
日本はもう絶対に負けると分かっていても突っ込みます。
そういう時に原爆が落ちたんです。
これでさすがに当時の軍人さんたちも「これでダメだ」と思ったんですね。

それが天皇様の終戦の御聖断という形になるわけです。
日本は救われました。そしてこの原爆は最大の悪と呼ばれましたね。
しかしながら同時に、人間に平和意識という最大の善を生んだんです。
これが６と９の意味なんですね。
広島の原爆は６日に爆発しましたね、この６を逆にすると９、これは長崎が被爆した日ですね。
裏と表があるということなんですね。
一面の悪、裏面から見ればこの原爆が平和運動を起こし、その訴えが今日まで核戦争を防止し、人類を生かしてきました。
これが９ですね、６と９。
この意味が分からない人のこと、一面しか見えない人のこと、これを６と９でないから「ろくでなし人間」と言うんですね。（笑）
これは実は動物人間という意味なんです。
真ん前しか見えない人、後ろの精神世界が見えない人、・・・もうこれからはその世界を卒業しましょうね。
これを分かった人を弥勒(みろく)菩薩、３６９と言うんですね。
３というのは、この世のすべての現れ、数霊なんです。
命の元があって、それが陰と陽に分かれて相対世界、これを結んで新しい命、これをくり返して万物が生まれました。
３とは万物のひとつの原理なんですね。
それを日本では大元造化、三神(さんしん)と言いますね、三つの神があってすべてが生まれてきた。
老子も「三は万物を生じる」と言っておりますね。
そのようにこの世のすべての現れは裏表があるよ、ということが分かった時に弥勒菩薩になれる。
いわゆる動物人間から神の子人間になれるということです。
原爆も一面悪ではあるけれども、裏面から見るとこんなすごい大きな意味があった、その意味が分かった時に、恨みの怨念がご恩の恩念に変るんです。
この時に初めて平和が来るんです。

広島の偉大な天命とは何か、忘れないうちに言っておきましょう。
ここでズバリ申し上げます。
「あの原爆を許す」と宣言することなんです。

人類は有史以来、繰り返し繰り返し悲惨な戦争を行ってきました。
その中で特に大きな衝撃を与え、絶対に許してはならないと言われたのが原爆なんです。
だから今日まで絶対に許さないということでずっとやってきましたね。
しかし今申し上げましたように、原爆にはそういった深い意味があったんです。
もうひとつ言いますね、原爆は相生(あいおい)橋の上で爆発しましたね。
この原爆は愛なる世界を生み出しなさい、愛に生きなさいという、その橋渡しだということをおっしゃっているんですよ。
８月６日８時１５分、止む(８６)、８月１５日に止む、全部天は諭しておられるんです。
これが分かりますと、こう質問されました。
「だったら河内先生、原爆は神が落とされたんですか」
だから僕はこう答えました。
「いや、神が落としたんではないんです」
神が許されたということです。
神様は我が命をたくさんに分けられましたね、八百万の神々です。
好きにさせておられる、強制なさらない。
しかし人間が目覚めるためには、悪なる現象もないと分からないんですね。

ちょっと今忘れないうちに言っておきましょう。
アメリカのブッシュ元大統領は、大変辛い役をやってくれたと思っているんですよ。
損な役ですね。
あのブッシュさんがああいったことをやったお陰で、もうさすがにアメリカ国民も戦争が嫌になってきたんです。
ブッシュさんが大統領に就任した時は、まだまだアメリカ国民は威張ってました。
俺たちはこんなすごい原爆、武器を持っているんだと、一番我々が強いんだと。
けどブッシュさんがイラクへの侵攻をしたお陰で、泥沼ですよね。
さすがにもうこれはダメだと、初めてアメリカの国民にも戦争は嫌だという意志が大きく起こってきたんですね。
そこにオバマさんが出てきて、核廃棄宣言をしてくれたということですね。

このようにひとつの悪がないと、日本も目が覚めなかったんです。
だから日本の神の道、神髄(かんながら)の道というのはですね、悪とか敵を認めないんですよ。
悪や敵も荒ぶる神と言っているんです。神なんですね。
大変辛い役ということですね。
それが分かりますと、今申しましたように、広島というのはとても深い意味を持ってくるんです。

広島の原爆犠牲とは、まさに世界平和への道を開く重大な人身御供であったということですね。

さあここでいよいよ手力男命の意味に入りましょう。
今日１２月２３日、天皇誕生日、まさに岩戸が開いたんです。
あの時明るい天皇様が生まれて、日本国民もう本当に喜びました。
祝え祝え、寿ぎ奉れ、日の本のひつぎのみ子の生まれまする今日、サイレン鳴ったサイレン鳴った、・・・二度鳴ると男の子ということだったんですね。
もう本当に喜んだ、踊り狂いましたね、日本国中万歳、万歳で提灯行列でした。
もうあれほどの喜び、ちょっと考えられなかったんですけど、あの姿に、神様はあることを示し申しておられたんです。
すなわち、明仁天皇様が生まれられまして、この天皇様の御代に「岩戸が開くよ」ということだったんです。

天照大神､太陽の神様が須佐之男命が乱暴をはたらいたことで岩戸に隠れられましたよね、そして真っ暗な夜の時代になってしまって、それでどんどん悪がはびこるようになり、これではいけないということになり、神々が相談して天照大神にもう一度出てきてもらおうということであることを考えられた。
それが天宇受売命(アメノウズメノミコト)の踊りだったんですね。
天の岩戸の前で踊られた踊り、それが今日の舞姫さんたちの踊りだったんです。

そのお陰で半分開きました。
そして後半分がいよいよ手力男命、男ですね、戦争の価値、今から申しますね。
あの戦争の大義名分、皆さんご存じですか。
多くの方はもう忘れられておられると思います。
八紘一宇だったんです。

八紘為宇が正しいんですけどね。
大東亜共栄圏だったんですよ。
八紘為宇とは地球一家ということで、八紘とは宇宙ということです。
宇宙の星々がみごとに調和していますね。和しています。愛です。
和は最高の美です。愛、和、美が宇宙の姿です。
その大宇宙の愛、和、美の姿を地球に映す、地球を一家にする、そのことを神武天皇様は今から２,６６９年前にハッキリ宣言しておられるんです。
日本を作る目的、国是と言いますね、八紘為宇、六合開都とおっしゃっているんですね。
日本はそういうひとつの天命が定まった国だったんです。
そして明治維新ですね。この時に明治天皇が立たれます。
神武天皇の生まれ変わりが明治天皇と言われているんですね。
そしてこの時、戊辰の年(明治元年)でした。
日本の国是が定まるんですね、富国強兵です。
元は八紘為宇ですよ。だから明治維新の時に、八紘為宇を実現するために富国強兵という国是を定めたわけですね。

そして日本は最初強兵で突っ走るわけです。
そして日清、日露、日米、三つの大戦をしますね。
これだって考えたら奇跡でしょ、日本はちっぽけな島国ですよ、資源は何もないんです。
中国もロシアもアメリカも、圧倒的超大国ですよ。
堂々と四つに組んだ戦争をしたんです。不思議ですよね。
戦争をする価値があったということなんです。日米戦争まではね。
日清、日露と勝ちました。
そして日米は、勝ってはいけない戦争だったんです。
ここを知ってくださいね。しかしやらない限り、絶対にアジアは解放されませんでした。
のべ五百年間ですよ、白人が有色人種の国を植民地化していました。
しかし日本が行った戦争で、アジアからすべての白人を追っ払いましたね。
これは不思議なことがあるんですけど、あの真珠湾攻撃をしましたね、その後半年間は勝った勝ったで日本はボロ勝ちするんです。
あの半年間で、アジア諸国から白人をみな追っ払ったんですよ。
その途端に負け出すんです。
翌年昭和１７年、７月のミッドウェー海戦でボロ負けしましたね。
あれから日本はどんどん負けていくんですね。
もう原爆が落ちるまで徹底して負けました。
だから陛下は終戦とおっしゃったんです。敗戦ではないんですよ。
もう戦争の価値は終わったんです。
日清、日露、日米、三つの大戦をすることによって、日本は一気に軍事産業が進歩しましたね。
その基盤ができたお陰で戦後豊かになるんですよ。
ようするに富国を成就するわけです。

なぜ豊かになる必要があるか、八紘為宇を実現するためなんです。
地球一家、世界平和は、貧乏ではできませんからね。

そしてもうひとつ、やはりアジアの解放だったんですね。
それで申し上げましょう。あの大東亜戦争の大義名分は、八紘為宇だったんですね。
地球一家、世界平和ですね。
その戦争目的は、実にみごとに立派に果たされておりました。
今日このことを皆さんしっかりと自覚してください。
その証拠は何か、ひとつはアジアの解放ですね。
日本の行った戦争で、みな完全に独立したではないですか。
アジアのこの半世紀の発展はすごいではないですか、以前はこんなもんじゃなかったんですよ、奴隷のような扱いだったんです。
日本の行った戦争でみな追っ払って独立し、こうなっているでしょ。
だから心ある方は「日本のお陰」と日本に対してたくさん褒め称えています。
ただ中国と韓国が日本に対して猛反発しているんですね。
これも実は神の計りがあるんです。

今言ったように、アジアを解放したこと、もうひとつ、みな気づかなかったことがあるんです。
これを明らかにして初めてあの大東亜戦争の目的の八紘為宇、世界平和の道は開いたと言えるんですね。
それは何か、日本の軍国主義の完全崩壊なんです。
あの戦争の目的は八紘為宇ですからね、世界平和への道を開くための戦争だったんですよ。
これがハッキリ分かれば、アジアを解放し、その後戦争が終わっても日本の軍国主義が続いていたら、平和を築けるはずがないでしょ。
アジアを解放させ、日本の軍国主義を崩壊させる、これがあの大東亜戦争の目的だったんです。
それが八紘為宇の道を開いた証明なんですね。
それをみごとに成し遂げられました。

それでその戦争の価値は成し遂げられたということで、陛下は終戦とおっしゃったんです。
そして日本は最初に戦争拒否を誓った憲法を持ちましたね。
これは昭和天皇がご発想者なんですよ。完璧な証拠がございます。

日本には九条の会が約六千あるんです。
一条のない九条だけの会がね。
みな左翼といわれる方ですね、ほとんど反天皇の方が多いですね。
しかしいよいよ時です。
来年、出ると思います。昭和天皇が九条のご発想者であったということが。
そうすると九条の会の人たちは、一斉に天皇を無視できなくなりますね。

いっぺんにワッと天皇は国民統合の象徴となられるんです。
九条の会だけでは絶対に平和は来ませんよ。
九条は平和、平和だけでしょ、遠心力だけで根がないんです。根無し草ですね。
これでは命が通いません。観念論の平和になってしまうんです。
九条は陛下がご発想者だと認めて、そして憲法一条、天皇は国民統合の象徴ですね。
この一条と九条を結んで一致団結、これが求心力ですね、根ですね、そして絶対平和です。
これで初めて根のある命のかよう真の平和力に九条がなるんです。

今までこの九条の発想者は天皇であると言った人はいないんですよ。
私は３６年間一人でずっと訴えてきました。
今までは憲法九条は、左翼の方たちのものだと皆さん言ってきましたよね。
共産党、社会党、原水禁、原水協、みなさん一生懸命訴えてきましたね。
そうするとね、右翼の人はいやがるんです。
右翼と左翼は仲が悪いですから、嫌いな人が何か言ったら人間は腹が立つんです。
だから原水禁や原水協のような左翼の方が憲法九条と言ったら右翼の方は腹が立ってケンカになる。
まさに憲法九条は“くじょう”の焦点だったんです。
これがいよいよ天皇様のご発想だということが明らかになってきます。
ハッキリなってきますと一条と九条が結ばれますね。
そうするとどうなるか、苦情から球状(きゅうじょう)に変るんです。
これはどういうことか、日本人の心を球状にするということですね。
一条と九条が結ばれますと、右翼と左翼、保守と革新は五分五分の功罪がハッキリするでしょ。
保守、右翼の人は天皇、一条を尊重します。
九条を拒否、自民党などは党是で九条をなくして軍隊を作ると決めてますよ。
全然九条を活かすことをやっていません。
また左翼の皆さんは天皇は差別の人間だ、戦争責任者だ、軍国主義者だといつも天皇を拒否してきましたね。
そして九条を一生懸命守ってきたんです。
両者はいつもケンカをしてきた。
それが一条と九条が結ばれ、天皇が九条のご発想者だということがハッキリしますと、右翼左翼に五分五分の功罪がハッキリしますね。
互いに譲れるんです。すると意識が高まるんですね。
はっこうです“発酵”しますね、そして真ん中になるんです。
これを“なかよく”(中翼)と言うんです。
分かりますか、仲良くです。
大和民族になるということですね。

今までの日本人は右翼的か左翼的かどちらかに偏ってしまうんです。
改憲、君が代、日の丸、天皇を主張すれば右翼、・・・となってしまうんですね。

護憲、反核、人権、平和、これは左翼になるんです。
いつも互いにケンカばかり、これは言葉は悪いんですが、一種の同性愛だったんです。
これでは赤ちゃんは産まれませんよね。
これで一条と九条で結ばれますと、保守は女性的、革新は男性的、男と女が結ばれて、はじめて命は誕生しますね。
これが新(神)政治、新しい政治、神の政治が起こってくるんです。
さきほど言ったように、宇宙の神がそういったことをキチンと仕組んでおられるんです。
そして世界の中の日本で一条と九条が結ばれますと、苦情から球状に変る、いわゆる日本人の心が玉のようになる、和するということですね。

世界が苦しむのは軍隊を持つからなんです。
軍隊を持ったら、莫大な金がいりますね。
軍隊を持ったら相手国が警戒しますね、悪循環、戦争でしょ。
そして莫大なお金を使って疑心暗鬼を深めて、絶対に平和は来ないんですよ。
世界が窮状に置かれているのは軍隊を持つからなんですね。
その窮状を救助して、そして地球を宮城(きゅうじょう)にするんです。
京都御所を宮城と言うでしょ。
京都御所は１,２００年無防備ですよ。
それでもずーっと守られていますね、ああなるんです。
天皇様、一条と九条を認めると、本当に天佑神助が働くんです。
私はこれを確信を持って言えるんです。
私は３６年訴えてますからね。
私の元には一千通を超える日本の要人左右から賛助の手紙がいっぱい来てるんです。
総理だけでも８名共鳴が寄せられ、土井たか子さんだって同和の親分だって、みんな賛同してくれているんです。
けど公の場では誰一人天皇が憲法九条の発想者だとは言ってくれない。
だから世に出ず今日まで来ましたけど、これは神計りだったんですね。

いよいよ今日、ここから起こるんです。天の岩戸開きがね。
皆さんそれに参加してくださったんです。
本当に皆さんにおめでとうと言いたい、これは素晴らしい栄誉なことなんです。
神国日本と言われましたね、これは嘘ではない。
そのことはもう明確に証明できるんです。
今言ったような話もそういうことですよね。
そういうことでいよいよですね、今の普天間問題、鳩山さんも、実は今天命を持って総理になっているんですよ。
鳩という字、分かります。平和の象徴でしょ。
鳩は九に鳥でしょ。
鳩山さんは天命があるんですよ。
憲法九条を活かす天の時を告げる、鳥は時を告げますからね、その天命なんです。

今私は鳩山さんにどんどん伝えてますけどね。
けどなかなか読んでいないんでしょうね。
全然やってくれないから。けどこれはやれば一挙に大反響を呼び起こします。

さあそこで申し上げましょうね、世界の平和、誠に簡単容易に実現できます。
どうしたらできるか、メディアがものすごく進歩したということですね。
日本から、世界中に一瞬にして響くんですから。
インターネットもすごいでしょ。
いいですか、今の最高最大の価値ある防衛力とは何か、世界の世論を味方にすることなんです。
世界の指導者は馬鹿じゃありませんね、一応良識を持っているでしょ。
この指導者が一番気になるのは世論なんですよ。
分かりますよね。
これを味方にできる資格と条件を持った国が日本なんです。
原爆と九条ですね。
大東亜戦争はまさに、あの神武天皇の八紘為宇、日本建国の国是、これを実現するための資格と条件を得た戦争であったとも言えるんですね。
原爆体験とは資格なんです。
日本が本気で訴えれば、その訴える力は他国とはまったく違います。
ただ今までは自民党がずっと政権を握っていましたね、自民党は党是、党の決まりで九条をなくして軍隊を作ると決めているんですよ。
全然やらなかった、だから広島長崎が一生懸命反核平和を訴えても、政府がそっぽを向いているんですからなるはずがない、響くはずがなかったですね。
だからもう神様怒られた、もういよいよ天の時が来た、どかーんと今回もう惨敗ですね。
１１９人、これにもちゃんと天の計りがあるんです。

実は私はこの１１９をずっと言ってきた、前の麻生さんにもずっとね。
１１９とはどういうことか、自民党の今回当選した人の数ですね。
実は平成一年(元年)一月九日の日に今の天皇様が即位後朝見の儀で、憲法を守れとおっしゃったんです。
答えたのは竹下総理、「憲法を遵守します」と答えたんですよ。
けど歴代の総理は全然やらないでしょ。
聖徳太子は十七条憲法でこうおっしゃっています。
第三条、詔(みことのり)を承りては必ず謹(つつし)め、謹まずんば、自ずから破れる。
陛下のお言葉、詔を承ったのなら、これをちゃんと実行しなさい、しなかったら自ら破れるとおっしゃっているんです。
まさにその通りですね。
竹下総理は憲法を遵守すると答えたのにやらない、その後の総理もずーっとやらない、平成の２１年間になんと１５名も総理が替わっているんですよ。
みんな途中で辞めていくんです。自ずから破れなむ。任期全うしていないんですね。

もうこのことをみごとに実証しています。
ただたった一人、小泉さんが例外だったんですよ。
なぜか、靖国に行ったからなんです。
この靖国問題の解決が憲法遵守なんです。

靖国とは何か、安らかな国を造るための尊い犠牲ということですね。
もうひとつ日本は不思議なことに、大和魂で戦いましたね、大和のどこに戦う意味があるんですか、大和(だいわ)に。
不思議に思いませんか、おかしいですね。
特攻隊などは大和魂のはち巻きをして突っ込んでいきましたよね。
呉は戦艦大和を造りました。
名は体を表す、あれだけ莫大な金を使い、全然戦果を上げずに沈みましたね。
あれは日本の軍国主義の終焉を象徴しているんです。
すなわち大和(だいわ)とは、あの戦争とは、大和世界を造るためのものだったんです。
本当に崩れない靖国を作るための戦争、それが大東亜戦争だったということを天が諭しておられるんです。
だから、靖国神社の英霊が本当に浮かばれるためには、崩れない靖国を造らねばなりません。
永遠に崩れない大和世界を造らなければなりませんね。
それを可能にするのが、憲法九条と原爆なんです。
ところが靖国神社を大切にしろ、英霊を大切にしろという方は、例外なくみんな軍隊作れです。
今日はもうひとつ、日本会議というところが奉祝行事をやっています。
こんなもんじゃない、もっとたくさんの人が来ていますよね。
はるかに大きな行事をやっている。日本国中いたる所で奉祝行事をやっています。
全部天皇奉祝と言いながら、昭和天皇の憲法九条のご発想と、その先帝昭和天皇の大御心を受け継がれて憲法遵守とおっしゃった今の天皇の心に反しているんです。
心に反しながら奉祝、これはおかしいでしょ。
本来それでは奉祝する資格はないんですが、みなその事に気づいていない。
だから今日来てくださった皆さんが、本当の意味で天皇を奉祝してくださってるんです。
一条と九条ですね。
だからいよいよ、本当の意味で日本の天命が開きます。
時が来ました。

もういっぺん申し上げます。世界の平和の実現は誠に簡単でございます。
私が鳩山総理に会えればこう言ってあげたい、

「鳩山さん、広島と長崎の市長を呼びなさい。そして東京で記者会見を開きなさい」

東京には世界中の記者がみな集まっていますからね。
そこでみんなを集めてこう言うんですよ。

「日本国だけが世界最初の原子爆弾の被害を被りました。
　この苦しい苦しい体験から、もう絶対に戦争を起こしてはならない、
　原爆を使ってはないということで、
　昭和天皇が憲法九条の戦争放棄をご発想なされました」

その昭和天皇の大御心を受けて、今の天皇様が二度もおっしゃったんです。
一年一月九日の即位後朝見の儀で「憲法を守れ」、翌年の二年十一月十二日の即位大典で世界１６０カ国に及ぶ元首が参列の中、より一層強く憲法遵守とおっしゃっているんですよ。
そのように二度もハッキリ陛下はおっしゃいました。
このことを鳩山総理は尊重して、

「私は陛下の心を尊重して、原爆体験と憲法九条を活かして、
　全力を挙げて、世界平和の実現に努力いたします」

これでいいんです。

大ニュースになります。
総理大臣が初めて原爆体験と九条を活かすと日本で言ったということで。
そして同時に今、日本の大使が世界１６０カ国に派遣されているんです。
すぐ指令を発しますね、今鳩山総理が東京でこのことを宣言するから、
各大使は各国の首脳に根回ししなさいと。
日本に賛成するようにしなさいと。
猛烈に運動させますね。それだけで大ニュースですね。
そしてさらに言うんです。
もうそれぞれの国で軍隊を持つのは止めましょうと。
この馬鹿げた幼いことをいつまでもやっているのかということですね。
その代わり安心が必要です。
日本にちゃんといい例があるんです。
日本という国は、明治維新以前は各藩で軍隊を持っていましたね。
明治維新になったらそれを全部廃止して、中央に統轄したでしょ。
それで日本は一気に国力が増して近代化したんですから。
日本はこういう体験した国なんです。
この日本の体験を世界に活かしたいと、世界に向かって言うんです。
もう各国で軍隊を持つのは止めましょう。
そのお金を福祉に回しましょう。
その世界を作るために、安心のために、国連軍ですね。
これを作りましょうと。
国連軍には常設されたものはないんです。
何かが起こるとアメリカが音頭を取って作ります。
これではダメです。
常設の国連軍を作らなければなりません。

それも日本が主体になって訴えなければなりませんね。
そして自衛隊を真っ先に提供する、それから先進諸国にも来てもらう。
世界から優秀な使命感に燃える若者は馳せ参じろと募集する、これだけでもう大ニュースになるでしょ。
もう意識が変りますね。
それと実は発展途上国は十数年前に国連決議をしているんです。
私たちは貧しく苦しい。先進国はもっと援助を増やしてくれ、ということを決めているんです。
しかしまったくできていないんですね。
アメリカなんかものすごい軍事予算じゃないですか。
こんなことではできっこない、本当に馬鹿なことです。
けれどブッシュのお陰でアメリカ国民はもう戦争が嫌になっている、しかも今アメリカは経済が大破綻、これも大きな意味では神の計りがあると僕は見ています。

すなわち、今日本が世界に向かって本気になって原爆体験と九条を活かすと宣言する、間違いなく賛同世論が一気に来ますね。
それを背景にしてものを言うんです。
力が出ますね。それでもってオバマさんを助けてあげる。
オバマさんは核廃棄宣言をしたんですから、今ほっておくと危ないんです。
殺される噂があるんです。
軍需産業を支配している連中がいますからね、早く助けてあげなければならない。
それは日本の役割ですね。

アメリカも今経済破綻で大変ですからね。
今世界の人たちが、
「日本に共鳴しています。もう軍事費に多額の予算を回すのを止めなさい。
　福祉にもっとお金を回しなさい」
と言ってあげるんです。そうすると喜びますよね。
中国だってそうですね、経済がどんどん発達していますが、実際にいい生活をしている人は一割ですからね。
九割はものすごい格差社会に苦しんでいるんですから。
それで毎年毎年莫大な軍事費用を増やしているんですよ。
もうこんなことは止めようではないですか。

実はメディアが進歩するということは、天の岩戸が開くということなんです。
太陽が明るくなる、疑心暗鬼が消えるということなんですね。
今気づけば、一気に、簡単に世界平和は実現できるんです。
実はこのことについては予言されているんです。
大本教というのをご存じでしょうか、戦前はとても力のある教団だったんです。
大本教を元に、生長の家、世界救世教、真光教団、いっぱいできましたね。

その大本教で最後の救世予言があるんです。
それが「一輪の仕組み」というんです。
九割九分九厘は滅亡に向かうけれど、最後の残り一厘でどんでん返しが起こって、あっという間に世界平和になっていく。
「三千世界一度に開く梅の花」なんです。
その前に、この一輪の仕組みは、悪く言われてよくなる仕組みという言葉があるんです。
戦後日本は侵略戦争をしたということでずいぶん悪く言われました。
けどこれも神の方便だったんです。
そう言われないと、すぐに軍隊を作ろうとするから、実際に自民党は軍隊を作ろうとしてきたんですから。
けれどもこれを抑えてきたのは革新の成果ですね。
天皇を否定しながら、天皇の心を一生懸命守ったのが左翼なんですね。
右翼は天皇尊重と言いながら天皇の心を拒否し、そこでバランス作用が起こりまして、安保闘争等でも共産党、社会党の人たちが「アメリカ帰れ！」とやったでしょ。
そして隣には中国、ソ連、北朝鮮という巨大な共産勢力があるんです。
もし日本がアメリカとだけ仲良くしますと彼らにとっても面白くない､嫌がらせをします。
「怖い、軍隊作れ」となるでしょ。
ところが日本は左翼の方たちが「アメリカ帰れ！」とやってくれるから、ソ連、中国から日本を見れば､「おお、日本には我が同士がたくさんいる」とこうなるでしょ。
あからさまに敵視ができなかったんです。
ですから終戦から今日までほとんど戦争の恐怖を感じることなく、日本は全勢力を経済発展に集中することができたんです。
それは憲法九条のお陰ですよね。
元は天皇様のお陰なんです。
本当にそのことに気づきますとね、一気に世界平和が実現できるんですね。

ここでちょっと話が変るんですが、大事なことを申し上げます。
それは天皇様の戦争責任についてなんです。
昭和６３年、１２月７日でしたかね、大東亜戦争(太平洋戦争)開戦記念日の前の日に長崎の本島市長が天皇に戦争責任ありと言ったんですよ。
その途端に大ニュースになりましてね。
その後わずか数週間で七千三百通という手紙が彼の元に押し寄せたんです。
私も出しました。
その七千三百通を分析しますと驚いたことに、七千通近くが昭和天皇に責任がある、本島市長は正しいという意見だったんです。
昭和天皇はそのままお隠れになりましたね。
今でも昭和天皇は責任を背負っておられるんですよ。
これはとんでもない大不忠なんです。
広島の方もよく言いますね、原爆が落ちたのは天皇のせいだと。
天皇が開戦を許したからこうなったんじゃないかと、そう言いますね。

さてみなさん考えてみてください、とても重要なことです。
たしかにあの開戦証書に天皇陛下は御名御璽(ぎょめいぎょじ)をなさいました。
御名御璽は承認ということですね。
そして戦争が始まりましたね。
なぜ許されたのかということですね。
当時はご存じのように、ＡＢＣＤ包囲網という封鎖政策でどうしょうもなかったんです。
日本はどんなに飛行機を作っても軍艦を作っても、石油がなかったらなんにもなりませんからね。
ほっておいても滅びていく、そういう状況に追い込まれたんですね。
だから当時の軍部とマスコミは猛烈にあおりました。
私は東京の国会図書館に行きまして、当時の新聞をずーっと読みました。
昭和１６年１２月８日の前、ものすごくあおっていますよ。
戦後朝日新聞は平和を唱える新聞と言われていますけれども、ものすごい、朝日新聞が一番ひどいです。
鬼畜米英をやっつけろ、ワーッと、そして全国民がみんなその気になってしまったんです。
「そうだやっつけろー！」、ものすごかったんですね。
そして最後の御決断を東條さんがもらいにいったんですね。
それはその時の全国民の総意だったということですね。
これを拒否なされば、天皇様は独裁者ですね。
だから「誠にやむを得ざるものあり、あに朕が志ならんや」と開戦の証書にわざわざ自分でお書きになって開戦を許されたんですよ。
ちゃんと証書にお書きになっていますから見てください。
陛下は全然やる気がなかったんです。けど全国民があおられたんですね。
国民というのはそんなに深く考えませんからね。
「そうだそうだー、やっつけろー」と。
しかし陛下は許した以上は私が全責任を背負うという自覚だったんですよ。

そして本当に陛下は苦しまれましたね。
元々戦争をする気はなかったんですから。
「良子皇后における人間の研究」という本があって、そこに皇后様の証言として載っていました。
真夜中に、陛下はがばっと起きられるんだそうです。
そしてぶつぶつ何かをおっしゃりながら、部屋の中を歩き回られていたそうです。
よほど苦しかったんでしょうね。
本人はやる気がなかったのに、全国民が「わー、やっつけろー」、それでお許しになった。
許した以上はどうしても最高責任者ですからね。
全責任を背負われた。そして結果的に負けたわけですね。
昭和天皇のお苦しみはいかばかりであったか。
しかもこの終戦のご決断は、天皇様がなされたんですよ。
その時天皇様は歌を作っておられます。

「身はいかになるとも 戦止めけり ただ倒れゆく民を思いて」
「爆撃に倒れゆく 民の上を思い 戦止めけり 身はいかならむとも」
完全に命を捨てておられますね。
そして終戦決断なさったんです。

当時、阿南惟幾（あなみこれちか　陸軍大臣)さんたちは軍人ですから徹底抗戦を主張しましたね。
阿南惟幾さんは立派な方です。
立派な軍人ですから、もうこれ以上戦争を続けることの愚かさを知っていました。
しかしあそこで戦争を止めることは、天皇陛下が処刑されることなんですよ。
そうでしょ。
当時三国同盟を結んでいたナチス・ドイツのヒットラーは死んでいましたね。
イタリアのムッソリーニも殺されていましたね。
どうして天皇が助かるんですか。
それを軍人が分かっていた。だから一億国民が玉砕しても陛下を守らなくてはいけないという阿南惟幾さんにはものすごく天皇を思う忠誠の心があったんです。
天皇と国民、日本の国体ですね。それをどんなことがあっても守らなくてはいけないというのが軍人の魂ですからね。
必死で守ろうとした。
天皇陛下はその気持ちが重々分かっておられました。
そこまで自分のことを思ってくれる、やっぱり愛おしい。
しかしながら陛下は、圧倒的大多数の国民を救わねばと考えられたんですね。
陛下がここで終戦を決断するということは大変だったんですよ。
なぜならば、戦争を止めると陛下だけではなく、そこまで自分に忠節を尽くしてくれた軍人とか政治家とか、そういう人たちがたくさん処刑される恐れがあったんです。
それも天皇はつらかったんです。
しかしながら陛下は自らの命を捨てる覚悟で決断なさいました。
それは自らが全責任を背負うということなんです。
国民にも、政治家にも、軍人にも、だれにも責任を負わさない。
自分が全責任を背負うという決断で終戦を決断されたんですよ。
その陛下のものすごい大御心(おおみごころ)に阿南惟幾陸軍大臣は号泣しています。
ハッキリおっしゃっています。
「阿南、お前の気持ちは分かる。しかし心配することはない」
その陛下の全国民を思いやる気持ちに阿南さんは感服し、それで譲ったんです。
そしてその陛下の終戦の決断に、軍人は絶対に逆らってくれるな、それを諭すために自ら腹をかき切ったわけですね。
その自決をした時に歌を残しています。
「大君の深き恵に浴みし身は 言ひ遺こすべき片言もなし」
ここまで天皇様は国民を思いやられる、その大御心に私は参りました。
何としても陛下の言に逆らってはならん。

そして譲ったんですよ。
だから陛下の終戦のご聖断ができたんですよ。
そこまで陛下は国民を思われたんですね。

それは決して嘘ではなかったですね。
戦争が終わり、マッカーサーが日本に来ました。
その時マッカーサーに本国から指令が来てたんです。
真っ先に天皇陛下の戦争責任を調べろだったんですよ。
当時アメリカの世論の八割以上が天皇を処刑しろだったんです。
それはアメリカの立場になれば無理はない、あれだけ徹底抗戦したんですから。
皆さんはあの硫黄島の映画をご覧になりましたか。
ものすごかったですね。だから当時のアメリカの世論は天皇許すなだったんですよね。
それで日本に食料を与えるな。
当時ヨーロッパも大変でしたから、同じ白人を優先して日本には食料が来なかった、そういう状態だったんです。
だからマッカーサーは日本に来て、すぐに天皇陛下の戦争責任を調べに入ったんです。
調べれば調べるほどマッカーサーは憂鬱になっていったんです。
なぜならばマッカーサーはクリスチャンだったので、善は善、悪は悪で分かる人だったんです。
調べれば調べるほど戦争責任がないんです。
もうほとんどが戦争反対ですから。
それでマッカーサーは憂鬱になって会う気がなくなったんです。
会えば弁解されると思ったんです。
ところが陛下の方から会いたいと言われたんですね。
それで、ならば会いましょうということで会われた。
その時の随行者に筧素彦(かけひもとひこ 元宮内庁皇太后宮事務主管)先生という方がおられたんですね。
この先生に私はずいぶん可愛がっていただきました。
先生からその状況をつぶさに聴いております。
最初マッカーサーは非常に威圧的だったそうです。
がっと上から押さえつけるような感じで。
あの有名な写真がありますね、マッカーサーと陛下が並んだ写真です。

マッカーサーはリラックスして立って、横で陛下はきちっとお立ちになっています。
それで陛下とマッカーサーと奥村さんという通訳三名だけが別室へ行ったんですね。
当初は約三十分の予定だったんですが延びました。
その間筧先生は本当にイライラして、もう心配で心配で仕方なかったそうです。
そしてようやっと扉から出てこられたそうです。
その時陛下の後ろから後光がバーッと差したような感じだったそうですよ。
陛下のお顔がものすごく明るかったそうです。
ところが逆にマッカーサーはぐたっとなって出てきたそうです。
マッカーサーはそこまで感動したんです。
そして陛下を送った後、椅子にドタッと腰掛けたそうです。
そこにＦ・パワーズというアメリカ側の通訳の人がいたんです。
その人はまだそんなに通訳が上手くないということで、奥村さんが通訳をしたんですけれども、その時マッカーサーは椅子にドタッと座って、
「あれほどの人が、あそこまで自分を犠牲にする姿を見て、私はたまらない。胸が痛む」
と言って実際に右手を胸に当てたそうです。

この時からマッカーサーはがらっと変るんですよ。
『われ、神を見たり』、マッカーサーの回想記の原題です。
それから陛下に惚れて惚れて惚れぬいたんです。
当時一千万人が餓死すると言われていましたが、すぐにマッカーサーは本国に「食料をよこせ」と言っています。
これはちゃんと極秘文書に載っているんです。
「よこさぬならば司令官を辞める」とトルーマン大統領を脅しているんです。
しかたがないから日本に食料が来たんです。
飢えを救ったのも天皇様なんですよ。
そして皇室には御物(ぎょぶつ)と言いまして素晴らしい宝物があります。

「その宝物を全部差し出すから食料に換えて欲しい」と陛下が言われ、マッカーサーが「われ、神を見たり」と感動しましたね。
それから何とかして陛下の国日本をよくしてやりたいという気持ちに変るんです。

戦争放棄は陛下の熱願だったんです。
今の憲法はマッカーサーノート三原則が基盤でできたと言われておりますね。
その三原則に国民主権、戦争放棄、基本的人権の尊重が載っているんですね。
二番目の戦争放棄の中に、自衛の戦争も放棄すると書かれているんです。
軍人のマッカーサーが自衛の戦争も放棄すると言うはずがないんですよ。
あのマッカーサーノートはマッカーサーが書いたと思われていますね、違います。
書いたのは幣原(しではら)首相です、間違いない。
幣原さんはとても英語が達者だったんです。
また歴史的事実として分かっているんですが、幣原首相はマッカーサーと会う前に陛下に会って書いて、それをマッカーサーに渡していたんです。
だから今の憲法草案は、実は天皇様の憲法草案なんですね。
ただ作ったのは外国人ですからちょっとズレがありますので、本当は日本人自身が陛下の心を察してこれを改訂しなければいけませんね。
自民党の改憲というのはみな九条をなくせというのですからこれは許せません。
かっての憲法は君主憲法、今の憲法はその反動で民主憲法、今度は君民一体憲法、それは天皇様の大御心戦争放棄を尊重し、国民の人権、自主性を尊重する、これが第三番目の憲法。
これが君民一体憲法、世界憲法になるんですね。
こうして初めて改憲が許されるということです。

それでは皆さん、いよいよ佳境に入ります。
広島の偉大なる天命とは何か、これは被爆者の皆さんが許すと宣言することなんですね。
最大の悪を許すんです。
戦争でこれ以上の悪はありません。それを許すと宣言するんです。
そして全世界の人たちにこの広島の許し、愛する真心に答えてくれ、アメリカにリメンバー・パールハーバーはもう止めてくれ、中国韓国に侵略、侵略・・・、もうそんなことはよしてくれと。
アラブとイスラエル、恨みの連鎖ですね。そんな恨みを消してくれ。
ヨーロッパのヒットラーに対する恨み、それも消してくれ。
言えますね。

広島がそれを言った、当然世界には衝撃を与えるでしょう。
恥ずかしく思うでしょう。
まさに広島の偉大な天命とは、戦争の最大の悪を許すと宣言することなんです。
これによって全人類の意識は急激に変ってくるんですね。
唯物論者の人たちが国連等で一生懸命世界平和について検討していますが、ハッキリ言っ

て唯物論で平和が来るはずがないんです。
この地球上に恨み怨念が渦巻いていたままで平和が来るはずがないじゃないですか。
この恨みの怨念をご恩の恩念に変えて、初めて世界平和が来ますね。
この広島の原爆を許すという宣言が、全人類にその気持ちを呼び覚ますんです。
なんと広島は素晴らしい、あれほどの悪を、絶対に許してはならんという天人とも許さざる最大の悪を広島は許すと言ってくれた。
すごい、汝の敵を愛せと説いたイエス・キリストの十字架の贖罪に勝るとも劣らぬ素晴らしい愛ですね。
これが実行された時に白人は変るんです。
いつもいつも広島はアメリカに詫びてくれと言っていましたね。
するとすぐにアメリカもリメンバー・パールハーバーで反発します。
そうじゃない、許すんです。
その時に初めて世界平和への道が開いてくるんです。

ですから申し上げます。あの大東亜戦争とは何であったか。
最も苦しく、最も悲惨で、勝ってはいけない戦争ですから、最も損な、しかし避けていては進むことのできなかった真実の世界平和、神武天皇が建国の時に定めておられた八紘為宇、この道を開くための、最大最高の価値ある大仕事、本当の戦(いくさ)だったんです。
生草(いくさ)とは生かす草と書く、民を生かす戦いということですね。
これは小を殺して大を活かす、今まではやむを得なかった。
広島と長崎の犠牲とはそういうことなんです。

人間は必ず死にます。価値ある死はあるんです。
広島の原爆犠牲とは、最高に価値ある尊い犠牲、人身御供だったんですね。
今日来た方は、このことをしっかり自覚してくださいね。
そのための戦だったんです。
そしてその戦の目的はみごとに達成されていました。
その証明がアジアの解放であり、軍国主義の完全崩壊によって生まれ変わった憲法九条で戦争放棄を誓い、平和国家に生まれ変わったということ。
これは天皇様のお陰で戦争という災いを転じて福とする、究極の災いを転じて福となさった方が昭和天皇であったということですね。
それは憲法九条があるから平和国家に生まれ変わったと言えるんですよ。
ですからこの九条と原爆体験を活かせば、世界の世論を味方にできる、一気に世界を変えられますね。
簡単なことなんです。その意味で天の岩戸が開いたと言えるんです。
今日ここにおいでくださった方は、その使命を自覚してくださいね。
今日私がお話ししたこと、たったひとつでもいい、参考になったことがあったらどなたかに伝えてください。
世界の広島、平和の原点この広島で今日催されたこの行事によって、天の岩戸は本当に開いたんです。

皆さん一人一人の言われることが、全国民に響いてきますね。
八紘為宇の八紘とは、そういう意味が仕組まれていたんです。
今の日本は腐ったような状態ですね、それが高次元に発酵(八紘)するんです。
納豆とか醤油とか酒とか味噌、みんな外国人に人気がいいでしょ。
これらはみな発酵食品です。
発酵するということは次元が高まるということです。
人間も今から発酵するんですよ。
だから腐ったわけですね。
今から酵母菌がいりますよ。酵(皇)母、皇(すめら)の母でしょ。
天照大神、天皇の真実、・・・大和民族の本当の姿が現われてまいります。

皆さん、本当におめでとうございます。
皆さん、本当にありがとうございます。
天の時がやってまいりました。
天の岩戸が本当に開いたわけでございます。

記録：酒井伸雄（http://yogananda.cc）